

人形作家のお父さん「ハルさん」が、娘の結婚式で小さかった頃から回想していく上で、思い起こすミスリー。「お弁当から卵焼きが消えたのはなぜ？」などほっこり。

『ブロードキャスト』 湊かなえ(角川書店)

これがあの湊かなえ作品?!
ひりひりするような表現はなく、
ゆったりと安心して、放送部
に入って頑張る主人公にエー
ルを送ってください。

『キュンとしちゃだめですか?』 益田ミリ(文藝春秋)

恋には発展しないけどときめ
いちゃった♪数々の「キュン」を、
1コマと短いエッセイで。

『旅屋おかえり』 原田マハ(集英社)

「あなたの旅、代行します！」
丘えりかが始めた旅代理業
は人の心を温かくします。

『祈りのカルテ』 知念実希人 (KADOKAWA)

研修医・良太は、専門を
決めるために内科や小児
科など各科で研修を重ね
ます。各科で出会った患者
の心の謎を解き明かす…
読み終わる頃にはストレス
もすっきり…?

読書の秋だよ～



2018年読書週間の標語は「ホッと一息 本と一息」です。
ということで、今回は、とにかく楽しむ読書ができる本の
特集です!

思わず吹き出してしまうエッセイや、トリックのゆるい日
常ミステリーなど、「ほっこり、ゆったり」をテーマに選書し
ました。読書が苦手な人も、どうぞ、試しに一冊…

『スープ屋しずくの謎解き朝ごはん』 友井羊(宝島社)

どこの店も「close」の看板がかかる
早朝に営業しているスープ屋「しずく」。
理恵の職場で起きた盗難事件の謎を
シェフが穏やかに解き明かします。

『道然寺さんの双子探偵』 岡崎琢磨(朝日新聞出版)

消えた香典の行方など若和尚・一海
が巻き込まれる謎の数々を解決する
のは、寺に住む中学生の双子。基本
的に人を疑うレンと人を信じるランが
正反対な謎の解釈をします。



『風と共にゆとりぬ』 朝井リョウ(文藝春秋)

帯にもそのまま「読んで得る
もの特にナシ!」。ただただ楽し
い朝井リョウの爆笑エッセイ。

『ランチのアッコちゃん』 柚木麻子(双葉社)

部長の通称「アッコさん」から
の命令? 「一週間、ランチを取り
替えっこしましょう」。気乗りがし
ない三智子ですが、不思議なラ
ンチコースを巡るうちに…

『金曜日の本屋さん』 名取佐和子(角川春樹事務所)

北関東の小さな駅の中にある本
屋は“読みたい本が見つかる本
屋”らしい、という噂の<金曜堂>
で起きる、人と本との運命的な出
会いをゆっくり味わってください。

『もものかんづめ』 さくらももこ(集英社)

さくらさんを思いながら、くすっ
と笑ってしまうエッセイを読む、
そんな追悼の時間をもつのもい
いですね…

夏の蔵書点検

調べ物の合い間や気分転換に手伝ってくれた、夏休み
図書館を利用して3年生のみなさん。登校日に残って
「楽しい」と言いながら和気あいあいと手伝ってくれた
2年生の仲良しグループさん。蔵書点検無事終了しました。
とても助かりました! ありがとう!